

**STOP  
THE  
VIOLENCE**

Speak out  
for girls' rights

## Stop the Violence Campaign training in Rwanda News Letter

期 間：2013年5月6日(月)～11日(土)

開催地：ルワンダ・キガリ

参加者：28カ国、48人

派遣者：大阪府第55団 宮次励来、奈良県第30団 下良真季

『5つめのワールドセンター』のパイロットプロジェクトとして、社会貢献活動が高い評価を受けているルワンダ連盟がホスト国となり、WAGGGSによるSTVキャンペーンについてのトレーニングが行われました。様々なポイントからSTVキャンペーン遂行に必要なことを学び、帰国後のキャンペーン企画までを行いました。



### キャンペーン推進に 必要なもの

について学ぶトレーニングでした

ヒト  
People

モノ・コト  
Tools

オカネ  
Money

**P**eople

#### リーダーはアンバサダー！

キャンペーンに関わる人に、伝道師(アンバサダー)として活動してもらうために慎重に研修内容を吟味することが重要。

- ★リーダーに何が必要か／知ってほしいことなど確実に正確に伝える
- ★アイテム(Tシャツやグッズなど)を一緒に作る(企画に関わる)ことで楽しく知って関わってアンバサダーチームとしての一体感を生む。



〈研修内容のアイデア発表〉

**T**ool

#### 必要なステップはToolkitに！

WAGGGS作成のSTV用Toolkitがありキャンペーン遂行に必要なモノ・コトが順を追って知ることができます。英語版ですが後日ダウンロードできるようになると思います。

また、訴えるためのグッズ(ポスター、Tシャツなど)の大切さやメディア利用論ではシンプルでインパクトのあるものが伝わりやすいと学びました。

**M**oney

#### 資金要請だけでなくコラボレーションも考える！

資金。これがなくては大きなキャンペーンはできません！援助元が支援したい内容に合っているか、戦略を立てて資金援助を申し込むほか、他機関に協働を持ちかけることによって現物支給や会場提供を受けるなど間接的支援で金銭の余裕ができることも学びました。多くの機関とのコラボレーションは同時にキャンペーンを宣伝してくれることにも繋がるので、大事なことです。

## ルワンダガールガイド連盟の取り組みと 5番目のワールドセンター

### 男女が利用できるAGRユースセンター

5つ目のワールドセンターの設置に取り組むルワンダ連盟は、地域とガールスカウト、そして政府機関との結びつきが深く、地域に根ざした社会貢献活動を行っています。またこれらの取り組みが今回5th World Centre Pilot Projectに選ばれた理由でもあります。

私たちが訪れたAGRユースセンターも国と地域の協力のもとに成り立っています。驚いたのは男子もこのサービスを利用できることです。無料のHIV血液検査、カウンセリングなどを中心に、様々な事情によって社会に出られない若い世代の人たちのための職業訓練や学ぶ場を提供しています。このような他の機関と連携した活動や取り組みは日本も参考にすべきだと感じました。



## 私たちのプロジェクト

**Know! No!! Dating Violence** というタイトル/テーマで、キャンペーンを行う予定です。デートDVを全国の人に知ってもらうためにまず、リーダー、ヤングリーダーを対象としたデートDV講習会の開催、先日発表になった日本連盟のSTVバッジプログラムを活用して、そこから様々なプロジェクトを展開していこうと考えています。いままでにない活動として、スカウトのみならずに取り組みでもらったSTVの活動を発表する大きな場を提供することや、常にSTVキャンペーンを身近に感じられるようなグッズの作成なども考えています。

**一般の人も巻き込みます!** スカウト内だけの活動にとどまらず一般の人にもキャンペーンに参加してもらう新しい形のプロジェクトに取り組もうと考えています。デートDV啓発を内容としたショートビデオコンテストの一般公募や、SNSを通じての情報拡散などを企画しています。

## 参加者の感想

### 宮次励来

今回ルワンダでのトレーニングに参加して、正直なところ私の最初の予想としては、アフリカでの活動は日本に比べるとまだまだなのではないのかと思っていましたが、その予想は大きく裏切られました。少女と女性が安心して暮らすことを目的とし、それに向かって実際に意味のある活動をしているルワンダ連盟の姿勢は、世界中のガールスカウトが手本として見習うものでした。

私たちがルワンダで学び、企画したキャンペーンで日本の女性の未来が良いものとなるように力を尽くしたいと思います。

### 下良真季

印象に残ったセッションに「私たちには少女を守る責任がある」というものがありました。少女が安心して活動できる場所を提供しているか、少女を守る方法を知っている成人会員の育成を含めて考えなければならないと思いました。このあたりは後日の報告書でお伝えします。

また、ルワンダ連盟の取り組みは私の想像をはるかに超えており、社会をよい方向に変えていくという使命を再確認し、日本でも少女と若い女性を守る団体の代表格がガールスカウトですと言ってもらえる日が早く来ることを思い描いて今後の私たちのキャンペーンを進めていきたいです。